

学校経営計画

1 学校教育目標

「勤労」「自治」「向上」を校訓とし、知・徳・体の調和のとれた健康な心身と情操豊かな人間を育成する。

2 学校の特徴

本校は特色のある6分野（人文国際、福祉健康、情報ビジネス、自然科学、グリーン、スポーツ科学）を設置する総合学科として、自分の進路や興味・関心に応じた学習ができるシステムを構築している。一人ひとりの個性を尊重し、能力を伸ばすことにより、それぞれの将来に向けて自己実現できるように教職員が指導し、支援している。

- (1) 進路学習の重視……1年次では、「産業社会と人間」を軸に自分探しを行い、ライフプランと高校での学習プランを考える。2年次からは、進路や興味・関心に応じた科目を、6分野と自由選択科目群から選んで学習する。3年次の「課題研究」では、各自の進路と関連する課題を研究する中で、目的意識を明確にした進路実現と自立のための学習活動を進めている。
- (2) 多様な進路に対応……大学進学から就職まで、幅広い進路を実現するために、入学試験に対応する演習科目や、簿記や情報処理などの資格検定を目指す実技科目を数多く設定している。また、就職等を希望する生徒に対しては、インターンシップを実施することにより、社会の一員としての自覚を持たせ、職業観の醸成を図っている。
- (3) 規律と秩序のある校風の確立……身なりを整え、元気な挨拶を交わすなど、学校生活を生きいきと活動できる生徒を育成するため、生徒と全職員が一体となって規律ある校風づくりに取り組んでいる。また、部活動の1年次全員加入制を取り入れ、学校の活性化を図っている。
- (4) 地域との連携……上市町の福祉施設を訪問するボランティア活動、上市町商工会や上市町社会福祉協議会との連携事業などに、多くの生徒が参加している。また、グリーン分野や福祉健康分野での学習を生かした「小学生とのふれあい交流」を実施し、地域に開かれた学校としての活動を推進している。これらの活動を通して、社会的モラルを身につけ、自己有用感を高めることにより、生徒の自己向上力を育成している。

3 学校の現状と課題

おとなしいが明るく素直な生徒が多い。元気よく進んで挨拶もする。しかし、物事に対し、最後まで粘り強く取り組んだり、責任をもって行動したりする経験や、実行したことに対して認められたり、誉められたりした経験が少ない生徒も多く、教師の側から積極的に声をかけて励ましながら、生徒のよい面を引き出すように努めている。

学校生活は、「朝の10分間読書」から始まり、落ち着いた雰囲気の中で授業に臨んでいる。1年次はほぼ共通の科目だが、2年次からは6分野ごとに選択科目を増やすなど、一人ひとりの進路希望に応じて、個性と能力を伸ばすことに主眼をおいている。3年次には課題研究を通して、自分の研究テーマに取り組み、まとめの発表会も行っている。資格取得や部活動、ボランティア活動などにも熱心である。全国大会に出場する部もあり、学習と部活動の両立を目標にがんばっている。

しかし、一方では、やや受動的で積極性に欠ける生徒もいる。学習習慣を確立できず、学校生活に目的を見いだせない生徒もいる。これらの生徒には目的意識や学校生活での生きがいを見いださせるため、担任や教科担当者、部顧問などは面接指導を実施している。また、系統的な学習を保障し、「学ぶよろこび」を体感させるため、コアカリキュラムの編成とこれに対応するクラス編成を実施している。

今後は、生徒が3年間の見通しをもった学習ができるよう、シラバスの一層の充実を図るとともに、家庭学習の習慣を目指す課題設定のあり方や解るよろこびを味わえる授業展開を目指す教科指導法の研究を深めたい。

生徒のさらなる自己向上力を身につけるための方策と、「逞しく生きる力」を身につけることができるような教育活動の展開を模索しているところである。